

第五回（平成二十九年）小平あじさい祭り俳句大会

【優秀作品】

（五〇音順）

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| おもかげの妣の針山額の花        | 東 祥子      |
| 白あぢさゐ花より小さきパンダ生る    | 東 祥子      |
| 燻し香の残る古民家濃紫陽花       | 有川すみ子     |
| 縁ありて小平に住み額の花        | 岩下三香子     |
| 四葩咲く東西に展ぶわが街よ       | 岩下三香子     |
| かたくなな心ほぐせよ七変化       | 内村 恭子     |
| 佳き出会ひ重ねけふあり濃紫陽花     | 内村 恭子     |
| 車椅子しばし佇む四葩かな        | 瓜生 信雄     |
| はじめ白明日に夢あり七変化       | 奥野 進造     |
| あぢさゐの瑠璃光傾る遊歩道       | 落合みね子     |
| 遊ぶごと紫陽花の園巡りけり       | 落合みね子     |
| 地に帰る最後の色や七変化        | 黒沼 武      |
| あぢさゐ剪る大いなる毬抱ふごと     | 小高 和子     |
| 恩師訪ふ軋む門扉に立葵         | 小藤 康人     |
| 紫陽花や園児の列の見えかくれ      | 佐藤多美子     |
| 高幡は曇りのち雨濃紫陽花        | 鳴原 洋子     |
| 紫陽花や色のこのみを姦しく       | 島田 須世     |
| 濃紫陽花一瞥せず去つた人        | 島田 須世     |
| 紫陽花の藍を纏ひてブロンズ像      | 下田 園子     |
| 歳月を深む用水濃紫陽花         | 下田 園子     |
| 葉敷ける小径の優し濃紫陽花       | 下田 園子     |
| 紫陽花やもういいかいの子等の声     | 杉本ハツノ     |
| 雨の中なほ艶めける四葩かな       | 鈴木 卓郎     |
| 紫陽花の風に憩へるブロンズ像      | 関 梓       |
| あぢさゐの風に押されし車椅子      | 関 梓       |
| 紫陽花や水の匂ひの立ちのぼる      | 関 梓       |
| 公園の蛇口逆さま濃紫陽花        | 田辺富士子     |
| 濃紫陽花亡母の情愛思ひ出づ       | 豊田 昭雄     |
| 園児らの見上げる花や七変化       | 樋口 生治     |
| おつきさまどうしてうさぎがはいってる  | 伊東 千朔（五才） |
| ブランコでちよつときぎすぎおちちやつた | 伊東朔太郎（五才） |

《ご案内》今回展示の右記俳句は、あじさい祭り期間内に寄せていただいた一三四句から、小平市公民館俳句サークルの代表者を選んでいただきました。なお、サークル入会をご希望の方は中央公民館へお問い合わせください。